

## 令和6年6月定例会 一般質問 下村佳史議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。(各議員からの「質問」(問)に該当する部分を黄色マーキングしております。)

### 「道路整備の充実について」

○下村佳史 議長のお許しをいただきましたので、香芝市議会自由民主党、下村佳史が一般質問させていただきます。

まず初めに、先日の市長選挙に当選されました三橋市長にお祝いを申し上げます。香芝市のために全身全霊をささげていただきたく思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、1問目に入っていきたいと思います。

街路整備プログラムについての質問をさせていただきます。

平成28年3月に香芝市街路整備プログラムの中の初めに、本市では人口増加による市街化の拡大に伴いこれまで多くの都市計画道路が都市計画決定されてきました。しかしその整備には長期間を要することも多く、平成27年現在約30キロ、全都市計画道路の約55%の都市計画道路が未整備のまま残されています。そこで本業務では香芝市都市計画道路見直し(案)において存続とされた都市計画道路(香芝市施工路線に限る)について今後の整備時期を市民等に示すとともに本市における効率的かつ効果的な都市計画道路整備を目指して平成28年の香芝市街路整備プログラムの策定がされました。それから8年がたち、市長の所信表明でもありましたが、先日の一般質問においても穴虫田尻線の早期実現着手を目指すと、力強いお言葉をいただきました。私も地域の皆様も大きく期待をしているところですが、現在新たな街路整備プログラムの策定が進んでいると聞いておりますが、市長が方向性を明確にされたところでこの穴虫田尻線はどのように位置づけされているのかお伺いいたしまして、私の壇上からの質問を終わらせていただきます。

○都市創造部長 平成28年に策定させていただきました前回の街路整備プログラムにおいては、穴虫田尻線を含めまして、短期から長期にわたり事業着手する路線、区間を示しております。このたびの街路整備プログラム策定においては、前回の内容をベースとしまして、現在策定を進めております立地適正化計画の誘導区域などを考慮した中で位置づけ、いわゆる優先順位について検討を進めてまいります。

以上でございます。

○下村佳史 今の答弁の中に短期から長期にわたってというお言葉がありましたけども、この短期というのはその街路整備プログラムの中では2016年から2020年、そして中期というのは2021年から2025年、まさしく今は中期の最後のほうにかかっているというふうに捉えてるわけなんですけども、そしてその短期の中には畑分川線、これは皆さんもご存じのように香芝・王寺環境施設組合の王寺からのパッカー車の進入並びに今度できる香芝市スポ

一ツ公園の中のプールの一角の部分だと認識しておりますが、その次に中期的に先ほども言っておりますように穴虫田尻線が記載されてるわけなんですけども、先ほども言いましたけども、所信表明でも市長自ら穴虫田尻線を早期に事業着手するとおっしゃられていまして、先ほど申し上げたことから現在策定している街路整備プログラムでは早期着手路線として明記されることになるのでしょうか、お伺いいたします。

**○都市創造部長** 整備プログラムの検討においては、市内の全ての都市計画道路を対象に広域的な連携や交通結節点とのアクセス具合、緊急輸送道路などの観点から総合的に判断をして優先順位を示していくこととなります。こうしたことを踏まえて穴虫田尻線は、詳細な時期を明確にするものではありませんが、他の都市計画道路に比較いたしまして早期に事業に着手すべき路線であるというふうに認識しております。

以上でございます。

**○下村佳史** 先ほども言いましたようにその28年からもう8年もたち、そして着手されたのはスポーツ公園周辺、美濃園周辺ということなので、本来の市民の皆様方の足となるべく都市計画道路が着手されていないという状況から見まして長い期間を要するものと改めて認識しておるわけなんですけども、その間でも関屋地区では生活道路における通過交通の問題がしばらく解消されてない状況が続いています。時間を要する都市計画道路の事業検討と並行してこのような生活道路、例えば今関屋の例を挙げさせていただきますと、万代からセンターラインのある道で一旦細い狭隘な道になっております。ここは都市計画道路の一部となっておりますのでその都市計画道路の一部という観点で認識しておるわけなんですけど、その次に西へ向かってまいりますとあしびハイツの西のほうにセンターラインのある道があるわけなんですけども、その行くまでに急に車が対向しにくい、そしてカーブ道路の中に横断歩道があるという狭隘な道がございます。ここは本当に市内でも多くの抜け道、またいろんな方が通られてるという道で認識しております。それからしますとこのような生活道路の改善にも努めていただきたいと思いますというわけなんですけども、どういった考えをお持ちでしょうか。

**○市長** 都市計画道路と、また生活道路とのお尋ねもございましたので、まず幹線となる都市計画道路と生活に身近な道路では機能や役割が異なりますのでそれぞれ必要に応じた対策を講じることになります。お話しいただきました生活道路の課題につきましては、都市計画道路の検討とは別に地域の皆様や自治会と相談の上で改善策の検討を進めることとなります。また、ご指摘いただきました都市計画道路の穴虫田尻線の一部におきまして、曲線のところで道路の幅員が急に狭くなるといった部分もございます。隣接する駐車場の地権者や、また今後予定されます穴虫田尻線の都市計画道路としての整備の進捗度合いに応じまして、議員ご指摘の危険性もごもっともでございますので、行政として速やかに改善できるように努めたいと思います。一方で、先ほども申し上げましたように、都市計画道路としての整備の中に含めた場合と比べて財政的に不利益な面がないかどうかも含めて検討してまいりたいと思っております。また、穴虫田尻線、都市計画道路としての整備につきまして

は、今年度街路整備プログラムの策定を新たにするわけですが、今年度中のその策定を待たずに、この道路につきましては近接地域で行われております土地区画整理事業、それとの兼ね合いもございますので、行政としてできるところから始めてまいりたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○下村佳史 ありがとうございます。市長からそのように述べていただきますと今まで何遍も要望し、また改善策を期待してただけでも行われなかった事業が一步進むような気がしますので、ぜひとも検討していただいて、よろしく願いいたします。

#### 「生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実について」

○下村佳史 続きまして、生活基盤の地域拠点の整備についてなんですけれども、これも二上山の駅前整備ということで質問させていただきますけれども、二上山駅の駅前は少し、この前の整備につきましてはかねてより芦高県議、香芝市議会議員の当時の芦高さんがいろいろと質問されてきて、現在駅前には駐車場も増え、少し整備されてますけれども、まだまだ駅につきましてはほかの駅に比べて整備されていない部分が多いというふうに思いますけれども、現在どのような取組をされているのでしょうか、お伺いいたします。

○都市創造部長 二上山駅につきましては、駅舎東側に駅前広場の都市計画がございますが、当面の交通対策として、今議員もおっしゃっていただきました、駅舎の西側の駅前広場を令和3年7月に拡張して暫定的な改良を行っております。

以上でございます。

○下村佳史 駅前広場の都市計画があるということなんですけれども、今の現在の国道から駅、駅前広場に行くにはかなり、対向もできない市道ということで、信号機もあるにもかかわらずどちらかが下がらないと対向できないという状況が続いてますけれども、この国道までの市道についてはどのようにお考えでしょうか。

○都市創造部長 駅前から国道までの市道につきましては、現在は未改良の状況でございます。

以上でございます。

○下村佳史 たまたまですがちょうどその土地が住宅が撤去されて平地になっているという状況も続いてますし、早急に策を考えていただいて、拡張ができるならばしていただきたいというふうに考えますけれども、その拡幅の計画はあるのでしょうか。

○都市創造部長 現在は具体的な計画はございませんが、畑、穴虫西、穴虫二上の3自治会から平成27年7月と令和6年6月に近鉄二上山駅周辺の道路等の整備についての要望をいただいております。道路整備に関して継続して検討を行っているところでございます。また、今下村議員もおっしゃっていただきました、国道入り口西側に更地となっている土地がございますので、その部分につきましては地権者に本市の事業の検討を行

っている旨の説明と今後の土地利用の計画の有無について確認を行ったところでございます。土地の利用につきましては現在は予定がないというふうに聞いておりますので、そこも含めましてどういった部分で国道へのアクセスをするのが一番いいのか検討をさせていただきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○**下村佳史** 今のお話をお聞かせいただくとやはりなかなか先ほどから駅前都市計画につきましては時間がかかるということで、現存の市道を整備するほうが僕は有効じゃないかなという思いはあるんですけども、今後、その整備方針についてお聞かせ願いたいと思います。

○**都市創造部長** 駅前広場の本整備にはまだまだやはり時間がかかるっていうふうに考えております。その分、暫定整備による交通の安全確保を行ってまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○**下村佳史** 道路を整備するに当たってはいろんな予算等またかかりますし、そういうことも十分承知しておりますので、できることから整備をしていただいて安全確保に努めていただきたいなというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

「学校教育の充実について」

○**下村佳史** それでは、3番目、学校教育の充実について、その初めに入り、質問させていただきたいと思います。

登下校の安全についてなんですけども、その中でも特に関屋小学校で晴実台やさくら坂からの登下校をされてる小学生は全体で80名おられるわけなんですけども、そのことについて伺います。

その一番関屋小学校からにとって距離の長い晴実台やさくら坂からの通学距離は何キロになるのでしょうか。

○**教育部次長** 関屋小学校、晴実台地区ですけれども、約2.4キロメートル、さくら坂で約2.9キロメートルでございます。

○**下村佳史** 平野での2.4、2.9となりますと軽く、そして町なかですと人通りの多い皆さんの安全を見守っていただける状況のそこを歩いて登下校されるというふうに認識しておるわけなんですけども、ただいま言いました晴実台やさくら坂におきましては小学校に行くまでに里山を3回、登ったり下ったりを3回繰り返す、なおかつ晴実台から出ると、山の中というのは語弊がある、分かりませんが、人通りの少ない、人目につかない通学路を歩いているのが現状ですが、これ、大体何分ぐらいかかって通学してるのでしょうか。

○**教育部次長** 通学距離が最も長い児童で50分程度要しているものと把握してございます。

○**下村佳史** 時間を聞く前に大体校区の現状を話させていただいたわけなんですけども、距離的に言えばほかにも長い距離があると思うんですけども、ほか、小学校以外に長い距離のある通学路はあるんでしょうか。

○**教育部次長** 関屋小学校以外にも2キロを超える通学距離の児童がいることを把握してございますが、晴実台やさくら坂地区が最も距離が長く、高低差があり起伏も激しい地域と把握してございます。

○**下村佳史** 先ほど僕、晴実台とさくら坂の合計人数を聞いたので数字を述べたわけなんですけど、やはりさくら坂と晴実台距離が違うわけなんですけども、その割合はどのようになっているんでしょうか。

○**教育部次長** 今年度の児童数でございます。晴実台で54名、さくら坂で26名でございます。

○**下村佳史** 距離そして時間並びに状況等をお聞かせ願ったわけなんですけども、こういった登下校の子供たちの負担があるということ認識していただいていると思うわけなんですけども、このことについて教育委員会はどのように考えておられるのでしょうか。

○**教育部次長** 晴実台、さくら坂までは距離が長く起伏も激しいこと、夏の時期には熱中症のリスクが高まることなどから、特に低学年にとって負担が大きいものと考えてございます。

○**下村佳史** 今1年の中でこれからの夏場、熱中症等の心配もあるということで、地元の見守り隊の方々また学校の運営委員の方が途中で休憩する場所等も作られて少しでも子供たちがそのような病気にかからないように手だてをしていただいているわけなんですけども、今までに登下校で熱中症になったという児童はどの程度おられるのでしょうか。

○**教育部次長** 登下校時に熱中症となった児童でございます。昨年度は、関屋小学校で2名の児童が熱中症になったと報告を受けてございます。

○**下村佳史** 熱中症ということでお話をさせていただいているわけなんですけども、小学校に限らずではありませんが、学校に対してその熱中症対策はどのようにされてるんでしょうか。

○**教育部次長** 関屋小学校に限った話ではございませんが、暑い時期は登下校の負担が特に大きいと考え、令和2年度から8月24日までに短縮していた夏季休業を令和5年度より8月31日までに戻してございます。

○**下村佳史** そういうことでこれからの、先ほども言いましたけど、暑い時期に差しかかるに当たって市長をはじめ教育長も副市長も6月19日に通学路を歩いていただき、その距離、そして生徒が通っているその道の狭隘、そして安全対策等見ていただいたわけなんですけども、それを踏まえてどのように市長はこの通学路についてお考えでしょうか。

○**市長** 先日私も教育長らとともに実際に現地を歩いてみました。ゆっくりではございましたが、大人の足でも1時間近くかかることが分かりました。また、距離が長いだけではなくて勾配が非常に激しいと、また単に上って下ってということだけではなくて、議員先ほど

お述べになっていましたように、上って下って上って下ってと何回も起伏を越えなければいけないというような地域性があるということも実感をいたしました。その距離や勾配があるところ、特に低学年の児童がランドセルや、またその中身、教科書やタブレット等も場合によっては持ってるものと思います。また、水筒、また夏場にはプールの授業の準備など、いろいろな荷物を持って身につけて通学するという事は非常に大きな負担となっているのではないかとこのように推察をいたします。また、保護者におかれましても大きな不安を抱えているものと思います。私が申し上げてますようにしっかりと教育環境を整えて人口呼び込む政策、これを実現するためには、小学校までの距離が1時間近くもかかっている地域であってはやはり人はなかなか住んでいただけないというふうに思っております。教育委員会と協議を重ねて、子供の安全の確保の観点から、負担軽減のためできる限りの支援を講じてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

**○下村佳史** そこでなんですけども、文部科学省におきましては学校安全の充実を総合的に取り組む手だてとして子ども安心プロジェクトを推進するということがうたわれております。そこにおきましては、通学路における子供の安全を確保するための取組で集団登校の実施、また学校安全ボランティアによる見守り、そして保護者同伴による登校実施などに加え、学校や地域の実情に合わせてスクールバスの活用も有効な方策ですというふうなうたわれて、そして全国の先進校の事例等を載せ、そして補助も出ている地域もあると聞き及んでおります。ということで、今の現状の中ではスクールバスの運行についても一案じゃないかなというふうに思っているわけなんですけども、これについて教育委員会の考えはいかがでしょうか。

**○教育部次長** 子供たちの負担軽減のためにスクールバスの運行は非常に有効なものと考えてございます。バス運行についての課題を抽出、調査し、子供たちが安全で安心して登下校できるよう前向きに検討したいと思っております。また、財政的な側面につきましては、市長部局とも協議を重ねてまいりたいと考えてございます。

以上です。

**○下村佳史** もし運行に当たっては実情もさりながら地元の保護者方々のご意見も伺っていただき、スクールバスがもし運行されるようでしたら有効な活用方法を考えていただきたいなというふうに思っておりますので、ぜひとも前向きに検討していただきたいと思っております。

続きまして、次に行かせていただきます。

2番目の教科書選定、採択についてなんですけど、昨日青木議員からもこれについて質問あったわけなんですけど、僕は違った観点で質問させていただきたいと思っております。

教科書は、日々の子供たちの学習に使用され、授業の基本となるものだと思います。私の年齢になっても、子供の頃に学校で使っていた教科書に書かれていたことが知識となって暮らしの中で生きているなど感じているところであります。聞くところによりますと、教科

書は何年かごとに改訂され、選び直す作業が行われるということです。市内においても昨年度は小学校で使用する教科書の選定が行われ、今年度は中学校で使用する教科書が選定されるということですが、大げさに言えば子供たちの将来にも影響を与える大変重要な作業だと思います。そこで、香芝市立小・中学校の教科書は何年ごとに選び直されているのかまずお聞きいたします。

○**教育部長** 原則といたしまして、小・中学校の教科用図書につきましては法令に基づき4年ごとに採択替えが行われることになってございます。

以上です。

○**下村佳史** その教科書採択におけるまでの手順はどのようになっているのでしょうか。

○**教育部長** 手順でございますけれども、まず教育委員会議で承認を受けました5名の委員から成る香芝市教科用図書選定委員会を設置させていただきます。選定委員会には、教育委員会からの諮問を受け、調査部会を設置いたします。調査部会調査員による調査報告を受けまして、5名の選定委員が協議、そして投票を行いまして教科書を選定いたします。この選定結果の答申を受けた後、教育委員会議で審議が行われ、決定されるという手順でございます。

以上です。

○**下村佳史** お話を聞いていると順次粛々と執り行われるのかなというふうには思いますが、この教科書を採択する上でどのようなことを基準とされているのでしょうか、お聞かせ願いたいと思います。

○**教育部長** 教科用図書を採択する上での基準となるものでございますけれども、内容はもちろんのこと、配列、そして分量、表現、生徒の発達段階や人権教育や特別支援教育からの視点、そして地域性の配慮、使用上の便宜等の項目に基づきまして各社の教科書を入念に比較検討を行いまして調査結果をまとめております。この調査結果を基に香芝市で使用するにふさわしい教科書を総合的に検討していると、そういったことでございます。

以上です。

○**下村佳史** なるほどなど、間違いなくいろいろなことを考えながら選定されてると思うわけなんですけれども、この教科書についてなんですけれども、一般に販売されておらないと思うわけなんですけれども、父兄や住民がどのように教科書で学んでいるかを全く知らされる機会がないと思うわけなんですけれども、この採択におきましては市民の意見が反映されるのでしょうか。

○**教育部長** 文部科学省からも、教科書の採択に関しましては保護者をはじめ国民により開かれたものにしていくことが重要というふうに示しております。そのため、選定委員会には保護者の代表の方にも入っていただいております。また、市民図書館で6月14日から7月12日まで開催しております教科書展示会では、閲覧された方々からご意見をいただいております。このいただいたご意見につきましては、選定委員会における教科書選定において参考とさせていただいてるところでございます。

以上です。

○**下村佳史** 先ほどの基準並びに今のお話等を聞かせていただいている中で、歴史的分野の教科書は日本固有の文化、伝統、そして正しい歴史観などが学べる内容となっていると思うわけなんですけども、特に奈良県につきましては「倭は国のまほろば」と、日本の始まりという観点も私は思っております。その中で、1つは縄文時代の豊かな生活を食料、建築技術、精神文化の分野に目配りして書いているのか、2つ目、日本最古の公文書、古事記、日本書紀を参考に国家の成り立ちを表現しているのか、3番目、初代神武天皇を記載しているのか、4番目、最年少の留学生、津田梅子が女性の地位向上と女性教育に貢献しつつも日本の伝統を重んじたこと書いているのか、5番目、大日本帝国憲法が日本の歴史、伝統、国柄に根差してつくられたことを書いているのか、6番目、日露戦争を戦った国民の気概、奮闘を書いているのか、7番目、朝鮮統治における日本の貢献を書いているのか、8番目、パリ講話会議にて日本が国際連盟規約に人種差別撤廃を盛り込む提案をしたことを書いているのか、9番目、共産主義の台頭とコミンテルンの破壊活動について書いているのか、10番目、満州事変に至るまでに中国の排日運動があったことを書いているのか、11番目、日中戦争に至るまでに日本が戦争を避けようとしていたことに中国が戦争を望んでいたことを書いているのか、12番目、実際にあった通州事件を書いているのか、13番目、アジア諸国独立への日本の貢献を書いているのか、14番目、島根県隠岐の島の竹島について不法占拠と明記しているのか、15番目、慰安婦問題について昭和40年の日韓請求権協定で解決済の旨を書いているのか、16番目、北朝鮮による拉致問題を書いているのかを、これらの項目も選考の参考にしていただければと私からの提案とさせていただきますが、このことについて、内容についてどのようにされているのかお聞かせ願いたいと思います。

○**教育部長** 市民の皆様方の中には、様々な思想や信条、また歴史観をお持ちの方がおられることと存じます。ただ、教科書は、児童・生徒に対しまして教科を教える中心的な教材として使われるものでございます。学習指導要領に基づいて作成しているものでございます。学習指導要領では、我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする事の大切さ、これらを自覚するように、また深めるように書かれているものでございます。これにふさわしい構成である教科書のみが検定に合格し、採択の候補となっているというふうにご理解いただきたいと存じます。

以上です。

○**下村佳史** ありがとうございます。るる述べましたけれども、日本人が日本国の日本人らしく生活していけるように育てていただける教科書であってほしいなということを希望いたしました。またお願いいたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。